

令和6年度 長期目標（重点目標）に対する評価

【長期目標1】新カリキュラムが順調に進み、卒業生の看護実践能力の評価が旧カリキュラムより向上。
- 結果 - 看護実践能力：学生の自己評価は学年進度と共に高くなっていたが、旧カリキュラムの学生より低い。到達状況としては5点満点で4点以上となっているため、一定水準の力は備えられたと評価している。 教育目標の到達度：2年次の自己評価 83.7%、他者評価 86.8%、3年次自己評価 93.1%、他者評価 88.8%だった。GPAは2年次 3.11 から3年次 3.27 と伸びていた（R5は3.10）。 看護技術到達度：自己評価では“単独で実施できる”と70%以上の学生が判断した項目が旧カリキュラム23項目に対し、新カリキュラム16項目で、60%以上に拡大すると旧カリキュラム29項目に対し、新カリキュラムの学生は22項目だった。 GPAに伸びはあるが、上記の影響因子として、自身の描く到達度が学校側で求めているよりも高い認識の学生が相対的に多い、自身に負荷をかけない傾向がある、持てる力としては出し切っている等の昨今の学生像や新型コロナウイルス感染症による学習の制約と実習日数の短縮化に伴う経験値の低さが考えられる。感染症の影響による制約は1・2年生でも見られるため、学生像と現在の授業展開の良否も踏まえて学習方法等を検討課題としていく。
【長期目標2】受験生の総数が維持でき、卒業時の市民病院への就職が安定している。
- 結果 - 各入試日程を調整し、昨年度比で出願者数は減じたものの受験者数は2名増となった。 愛知県下の専門学校での令和6年度入学状況は、32校中欠員発生校が15校あった。本校は今年度まで定員を満たしていたが、令和7年度入学生において欠員が発生した。次年度は2次募集等を計画していく。 津島市民病院への就職は卒業生27名中、16名で安定している（前年度17名）。進路調査では75%以上の学生が津島市民病院への就職を考えており、昨年度より高くなっていた。就職先選択の要因は、“公務員”“看護師等の雰囲気”“実習中の看護師等の印象”“一定水準以上の医療・看護の提供”“実習に伴う情報量の多さと順応のしやすさ”に75%以上の学生が回答し、就職先に関係なく、“病院の所在地”も要因の上位にあった。今後も海部津島もしくは通学のしやすい地域在住者の入学生の確保に努めていく。
【長期目標3】新カリキュラムでの教育の中にICT化が定着。
- 結果 - 授業支援システム・サイネージシステム共に活用状況は昨年度より増え、使用範囲も広がってきた。授業資料の保存・入手、課題提出・回収の利用は教員・学生共に活用度が上がった。ただし、システム上のトラブルが多いため、原因を解明しながら使用した方法を共有し有用性を上げていく。 オンライン動画は視聴実績を把握し、学習効果が上がるための対策を検討しながら進めることができた。
【長期目標4】電子カルテや仮想地域などの学習ツールを使用できる。
- 結果 - コスト面と既存のものの有用性・質の面から導入を見送っている。本校の特性に見合ったものが選択できるよう情報収集を続けていく。
【長期目標5】学校外でも、タブレットを使用。ネット回線を自由に使って探索的、創造的に授業、実習できる。
- 結果 - 臨地実習では情報漏洩や学生の情報リテラシーの未熟さの懸念から、タブレットの持ち込みについて施設側の許可が得られず着手していない。教育上の価値・必要度を電子書籍の導入とも併せ検討していく。
【長期目標6】学校事務、学生管理ソフトが利用でき、業務がスマート化できている。
- 結果 - 学籍管理、成績管理、授業管理等、カスタマイズしながらスマート化に繋げている。今後も使い勝手を追求しながら業務のスリム化の実感が得られるよう継続課題としていく。